



《学校教育目標》 「かがやく瞳 伸びゆく子」

地域に支えられた「教育の町 船越」

校長 加賀谷 正人

令和6年度も残り一か月となりました。今年度は学校創立150周年を迎えたとともに、校舎の大規模改修も完了となるなど、節目の年度となりました。これまで本校の教育活動にご協力くださった保護者の皆様を始め、学校運営協議会、CS各部、ご指導いただいたゲストティーチャーの方々に深く感謝申し上げます。

今年度の卒業式が3月14日に挙行されます。今年の卒業生は54名。子どもたちは体も心も大きく成長し、自分の夢に向かって前に進んでくれることと思います。船越小学校卒業生総数は今年度の卒業生を加えると8503名、私も48年前に船越小を卒業しました。半世紀近くが経過しましたが、当時、事あるごとに「教育の町 船越」というフレーズを耳にした覚えがあります。この度「船越コミュニティフォーラム」で「船越小学校のあゆみ」についてお話しする機会をいただき、学校沿革史（明治30年以降の記録）や男鹿市史（平成7年発行）を調べていたところ、「教育の町 船越」の記載を見つけました。紙面の都合上、詳細は省きますが、行政機関が確立していない明治期早くから学校教育の必要性を見出した地域の方々のたくさんの支えがあり学校（当時は竜湖小学校）が運営されていたこと、それによって高い就学率（特に女子）が維持されたこと、立派な玄関（明治30年増築）を有する校舎があったこと等、地域の中心校として船越小学校が存在してきたことが「教育の町 船越」と言われる発端であることが分かりました。令和の現代において、CSやPTA活動等により地域や保護者の皆様に支えられ、新しくリノベーションされた校舎で学校運営が円滑に行われていることを振り返るに、時代は変わろうと、これからの新たな時代を切り開く子どもたちを育むベースは、地域に支えられたここ「船越小学校」にあることを実感した次第です。

次年度は本校創立151周年となり、払戸小学校と統合した新生「船越小学校」としてスタートすることになります。船越、払戸、両地区の「学びのふるさと 船越小学校」としてあり続けることができますよう、引き続き、地域の皆様のご支援をよろしく願いいたします。

～3月の主な行事予定～

5日(水) フッ化物洗口	20日(木) 春分の日
6日(木) ALT訪問	21日(金) 修了式
12日(水) 卒業式予行 フッ化物洗口	22日(土) 春季休業(~4月6日)
13日(木) 6年給食最終日 ALT訪問	24日(月) PTA会計監査
午後：卒業式準備	PTA正副会長会
14日(金) 卒業式(1~3年休業日)	28日(金) 離任式
給食無し	(新1・3・5年生学級編制発表)
<u>4月7日(月) 令和7年度始業式</u>	<u>4月8日(火) 令和7年度入学式</u>

座布団を揃えていただきました

2月初旬、船越小学校コミュニティ・スクール学校運営協議会委員の秋山協子さん、大嶋久美子さん、斎藤秋子PTA会長の3名の皆さんが、2日がかりで22枚のふかふかの座布団を製作してくださいました。綿は船川の秋山ふとん店さんから提供いただきました。この他、船越地区市民憲章推進協議会より40枚のクッションをいただき、学年全員で使用できる数を揃えていただきました。多目的ホールでの学習の際などに、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

(地域交流室での製作作業の様子)



コミュニティ・スクールの取組 ～統人行事、昔語り～

2月13日、3年生、4年生の総合的な学習の時間において、統人行事保存会の船木正博さんから統人行事と山太鼓を教えてくださいました。昨年夏のお祭りに参加した児童もあり、興味深くお話を伺うことができました。4年生は参加した児童全員が太鼓を経験し、中学生になったら太鼓の役をやりたいという声が聞こえました。また、2月14日には1、2年生を対象に、男鹿半島案内ボランティアの会の方々から昔語りをしていただきました。どんぶくの衣装に加え、囲炉裏や障子なども準備していただきました。今年は改修された多目的ホールで実施し、例年以上に雰囲気のある昔話お話会となりました。



3, 4年生 統人行事の学習



1, 2年生 昔語り

ふなっ子の活躍

【令和6年度 男鹿市スポーツ賞】

奨励賞個人 1年 ○○○○ ○○○○ (種目 空手)

【第58回 男鹿市民スポーツ大会 綱引競技】

2月16日に開催された綱引競技に船越小から低学年の部に26名が4チームに分かれて参加しました。「リュッキー ファイヤーズ」が準優勝し、大会を盛り上げました。

